



入学式 新入生代表の言葉

あたたかな春の光があたりを包み、小鳥のさえずりが春のおとずれを祝っているようです。今日、ぼく達百六十六名は、大きな希望をいただき、この神町中学校の門をくぐりました。

はじめに、今日、このような立派な入学式を開いていただいたことに、お礼申し上げます。

先日ぼく達は、小学校を卒業しました。新型コロナウイルスの影響で、さまざまな制約のあった卒業式でしたが、この経験で、当たり前前のできることという日常に感謝することの大切さを学びました。また先生方、友人、在校生たちが、日ごろからぼく達を支えてくれていた大切な存在であったことに気づかされました。

今日ぼくたちは、新しい制服に袖を通し、今までとは全く違った中学校生活のスタートラインに立っています。きんちようや不安な気持ちがある反面、どんなことが待っているのだろうという期待と希望で胸がいっぱいです。困難にぶつかるともありませんが、仲間達と協力し支えてくださる周りの方々に感謝し、中学校生活を楽しまたいです。

学習面では、教えていただく先生が教科ごとにかわり、新しい教科も増えて勉強が難しくなり大変になると思いますが、予習・復習をしっかりとして、授業で学んだことを自分の目標や将来の夢に活かせるように精一杯努力していきます。部活動では、最初は教えていただくことばかりですが、メリハリをつけ先生や先輩からのアドバイスを活かし、大会でも良い結果を残せるように頑張りたいです。そして、神町中学校のスローガン「龍勢神中」のように、勉強と部活動の両立を目ざし、挑戦する気持ちを忘れず、努力し、一步一步前へ進んでいきます。

先生方、先輩の方、新入生のぼく達に、これからご指導よろしく願います。そして地域の皆様、皆様の期待に応えられるように精一杯がんばっていきます。本日はぼく達のために入学式を開いていただき、まことにありがとうございます。

令和二年四月七日

新入生代表

寒河江

哲平

4月6日の始業式、学校へ1番乗りを果たしたのは、新3年生の平山晴琉くん、竹川秀斗くん、眞田大雅くんでした。「ずいぶん早いね。」と話しかけると、「あまりにも退屈で、早く学校に来てしまいました。」と答えが返ってきました。「今年の目標は?」と聞くと、3人は口をそろえて「初心に戻って生活をしっかりと立て直したい。そして、コロナウィルスなどの病気にかかることなく、健康に生活していきたい。」と話してくれました。ところが突然、4月9日(木)～22日(水)まで市内小中学校が休業することになってしまいました。休みにはなりますが、生活習慣を乱すことなく、全員元気で23日(木)の日に登校できることを願っています。

